

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立上尾高等学校	Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校の置かれた状況や生徒の実態を把握し、今年度見直しが図られている。学校の課題等を的確に把握した上で、平成24年度に校訓として定め、生徒にも浸透している「文武不岐（ぶんぶわかたず）・自主自律」を含む明瞭な学校像が設定されている。
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえ、学校の取り組むべき方向が四つの柱として設定されている。目指す学校像の実現に向けて生徒の実態など学校の状況等を把握した上で課題を絞り、前年度と比べて重点化が図られた適切なものとなっている。
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校自己評価システムを運営する組織が明確に位置付けられている。全体的に評価項目や方策が抽象的であるので重点目標達成のための次の一手が具体的に分かるようにし、分掌・学年等の組織間の連携を更に良くするなど、組織的な体制を一層整備していただきたい。
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	重点目標達成に向けて、分掌・学年等のシートが作成されている。方策を評価項目の達成を目指す、より具体的なものにして、更に効果的な中間評価を行うと良い。評価指標については、中期的な目標を踏まえて、何を、いつまでに、どの程度行うのかといった視点から、教職員間で目標の達成イメージが共有できるような分かりやすいものを設定することが望まれる。
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の課題等を踏まえた明確な学校経営の方針を持ち、「上高の未来をデザインするチーム」を立ち上げアクティブ・ラーニングの研究を進めるなど意欲的に取り組んでいる。校長が的確にリーダーシップを発揮して、分掌・学年等から業務改善に向けた意見を収集し、校務全般の効率化による組織の見直しを図るなど、教職員の共通理解の下、組織的な優れた取組を展開している。
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	生徒・保護者アンケートなどを実施し、学校自己評価のための情報が収集されている。学校関係者の意見やアンケートの結果等を丁寧に分析してエビデンス（根拠データ）を導き出すなど、達成状況や課題の把握を更に適切に行い、方策の見直し等、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。
特記事項		